

地元いちばんニュース



『作る』と『食べる』をつなぐ、

北九州市地産地消サポーター制度



北九州市 地産地消推進課 2011年2月10日

サポーターのみなさん、こんにちは！今回のニュースは、『若松野菜産地情報』です。

◆年末からの長く厳しい寒さの影響があらこちらに

- 露地野菜は生育遅れと雪による品質低下がありました。キャベツは割れたり紫になったり、ブロッコリーは花蕾が雪焼けで黒く変色したり、青首だいこんは芯まで凍るなどの被害があり、出荷量が少ないため市場価格が上がっています。
- また、圃場が乾かないため、春キャベツや春だいこん、春ジャガなど、春先に出荷する露地野菜の植え付けが遅れました。
- 促成のトマトやミニトマトを栽培する加温ハウスでは、例年の冬の1シーズン分を超える燃料をすでに使っているようです。
- ミニトマトの加温ハウス・・・初夏まで収穫できそうです。
- トンネルだいこん・・・悪天候で遅れていた4月出しのだいこんの播種が始まりました。寒さにあたって花芽が形成されるを防ぐためにトンネルをかけます。しかし今年は、寒いのでいくらか花が付くかもしれないということです。

ハウス内のミニトマト



トンネルだいこん



ヒヨドリに中心部分を食われてしまったキャベツ

◆一難去ってまた一難

- 寒さは一息つきましたが、最近ヒヨドリの被害が激しくなっています。数十羽から多いときで百羽を超える群れが、キャベツやブロッコリー畑を襲うため、生産者はネットを張って凌いでいます。



キャベツ畑にネットを張っています。(分かりにくくて申し訳ございません)

◆野菜いろいろ

- 珍しい野菜：ロマネスコと紫のカリフラワーを発見。3月半ばくらいまで出荷されるそうです。
- セロリ：昨年試食をしましたが、何もつけずにバリバリ、食べられました。おいしかったです。主にエフコープ折尾店に出荷されています。



ロマネスコ



紫カリフラワー



ハウス内のセロリ

今回の産地情報は、農家の苦労話を中心になってしまいました。

地産地消についてのお問い合わせは、
 北九州市 地産地消推進課(担当:尾上、柳川)まで
 TEL:582-2080 FAX:583-0594
 Mail: shinichirou_onoue01@city.kitakyushu.lg.jp

<http://www.jimoto1ban.jp/>

地元いちばん

検索